

iシェアーズ
月次ETF*資金流入レポート

渡邊 雅史
ブラックロック・ジャパン株式会社
iシェアーズ事業部
ストラテジスト

ETFは世界中で約5000本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は2.5兆ドル（約250兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見てくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2014年5月のETF資金流入 ～米国債と欧州株へ～

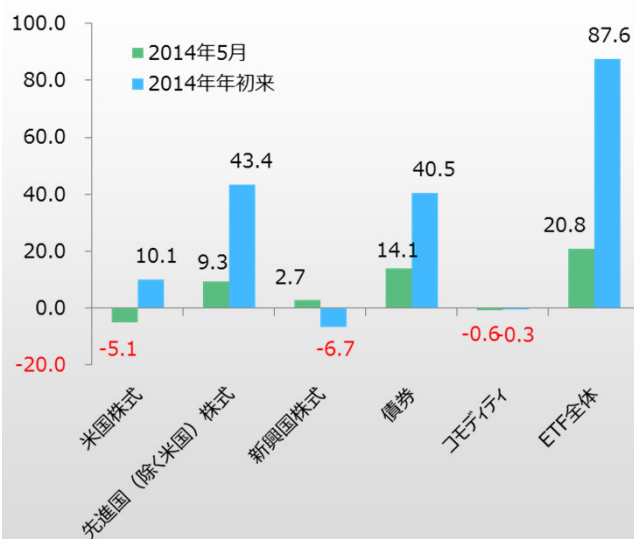
2014年5月の世界のETFへの資金流入は、208億ドル（約2.1兆円）の流入となりました。

5月は特に債券ETFへの流入が目立ちました。中でも比較的満期の長い米国債や投資適格社債などへの流入が多く、米国の金利が上昇してこない中で、投資家は比較的満期が長い（金利上昇時の価格下落リスクが高い）債券にも資金を向かわせている模様です。

米国株式のETFからは全体としては資金がやや流出しました。しかし、中身をよく見ると、小型株からは62億ドルの流出でしたが、逆に大型株やエネルギー、不動産関連にはそれぞれ10億ドル以上の資金が流入していることから、米国から資金が出ていったというよりも、米国内における投資戦略の調整が行われたのではないかと考えられます。

また、欧州株式への資金流入は46億ドルとなり、ECBの追加金融緩和期待を背景に継続的に資金が流入してきています。新興国株式も先月に引き続き資金流入となっており、昨年から続いていた資金流出傾向も落ち着きを取り戻したように思われます。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

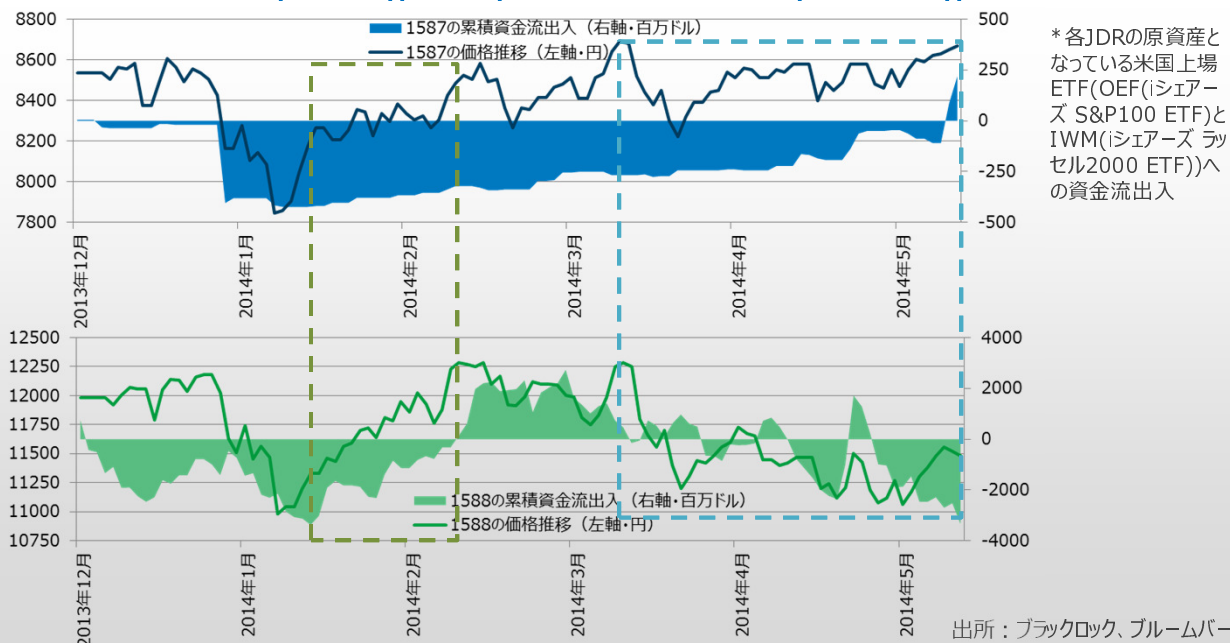


出所：ETP Landscape May 2014, BlackRock

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向 ～米国大型株と小型株～

【1587(iシェアーズ 米国超大型株ETF(S&P100))と1588(iシェアーズ 米国小型株ETF(ラッセル2000))の価格推移と資金流入*】



昨年（2013年）の米国株ETFへの資金流入は1,478億ドルに達し、大型株・小型株を問わず年間を通して資金が流入しました。最終的には小型株がアウトパフォームしたものの、大型株・小型株ともに大きく上昇したというのが、米国株式市場の2013年でした。しかし、2014年に入ってからの米国の超大型株と小型株のETFへの資金動向を見てみると、昨年とは異なる様子が伺えます。年初はどちらもウクライナ情勢の緊迫化から資金が流出しましたが、その後の米国経済への強気の見方が強まった2月は小型株が流出額分を取り戻す形で急回復しました。しかし、3月以降、投資家の想定と異なって米国金利が上昇せず、それを受けた投資家のポジションの解消に伴って再び小型株は資金流出となり、反対に大型株に資金が流れた結果、大型株がアウトパフォームする形となりました。高値更新を続けている米国株式市場ですが、その背後で投資家は米国株式市場内において、局面に応じて投資対象をより機動的に調整しているように思われます。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。また、エマージング市場・フロンティア市場への投資では、一般に変動が大きくなります。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://jp.ishares.com/>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

ブラックロック・ジャパン株式会社iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110(部代表) <http://jp.ishares.com/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号

加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。